

2008 年度「富士山の森づくり」植林スタート

今年は 8 企業・団体、約 1030 名が参加

【富士山の森づくりとは】

2007 年 4 月、オイスカが山梨県や複数の企業・団体と協働してスタートさせた森づくり事業です。事業地の富士山北麓域は、2004 年から山梨県によるシラベ林虫害対策事業（列状間伐を行い、針広混交樹林への「天然更新」を促す）が進められており、本プロジェクトは県の被害対策と連携し、列状間伐を行った箇所、広葉樹の植栽を行い、天然更新よりも確実にそして早く森林の再生ができるように取り組んでいるものです。

オイスカが県や複数の企業・団体間の調整役となり協働する事で、まとまった資金と人手により 100ha という広域を対象に、目標・手法を統一したかたちで森づくりを行うことができると考えています。また、大勢の方への意識啓発も期待でき、地域の活性化にも寄与できると考えています。

本年度も昨年に引き続き、5～6 月の約 1 ヶ月の間に 8 つの企業・団体の職員などがボランティアで植林作業を行います。なお、ボランティアによる植栽、下草刈りなどの活動は 10 年間を計画しており、専門家による保育、保全活動も長期的に実施していく予定です。また、今年 3 月には、関係企業・団体、行政など 22 の組織が参加して「富士山の森づくり」推進協議会が発会。本事業のさらなる推進と普及に取り組んでいます。

* 「富士山の森づくり」詳細は専用webへ

→ <http://www.oisca.org/project/japan/fuji.html>

【事業内容】

- 対象地：山梨県鳴沢村富士山地内県有林（標高 1,600m、対象面積約 100ha、内植栽面積 50ha）
- 活動期間：ボランティアによる植栽、下草刈りなどの活動→約 10 年間
専門家による保育、保全活動→長期的に実施
- 活動形態：山梨県、林業関係者、企業・団体（8社）等との協働
- 植林樹種：富士山自生の広葉樹（ミズナラ、ブナ、イタヤカエデ、ヤマハンノキ、ヤマザクラ）



植林地（2～3 合目）から見た富士山

【植林スケジュール】

5/17(土): オルビス株式会社・株式会社 pdc、いすゞ自動車の社員と関係者が植林

5/24(土): KDDI 株式会社、株式会社ニコンの社員と関係者が植林

5/31(土): 日本再共済生活協同組合連合会の社員と関係者が植林

6/1(日): 東京電力株式会社の社員と関係者、一般公募のボランティアが植林

6/7(土): 昭和シェル石油株式会社の社員と関係者が植林

6/8(日): 財団法人オイスカ会員、関係者が植林

【昨年度の植林の様子】



↑お父さんと一緒に参加してくれた女の子。協力してシカの食害から苗木を守る白い囲い「ウッドガード」を取り付けます。



↑植林後に並ぶ「ウッドガード」。成分解性プラスチックでできた囲いの中で苗木は育ちます。



↑お父さんが木を植えるのをお母さんが手伝い、2歳の男の子が応援します。
小さなお子様連れの方も楽しんで植林をしていました。

【問い合わせ先】

財団法人オイスカ 協働事業部

〒168-0063 杉並区和泉 2-17-5 Tel 03-3322-5161 Fax03-5376-5337

E-mail oisca@oisca.org (担当:田中)

オイスカHP <http://www.oisca.org>